

# 早期の経営改善を

## 支援します!

- 経営改善計画策定費用
- モニタリング費用

総額の **2/3** (上限20万円) まで負担します。

秘密  
厳守

相談  
無料

### 専門家の力を借りて経営を見直しませんか?

国が認める認定支援機関(税理士、中小企業診断士など)の支援を受けて資金実績・計画表やビジネスモデル俯瞰図など**早期**の経営改善計画書を策定します。※モニタリング費用を含む

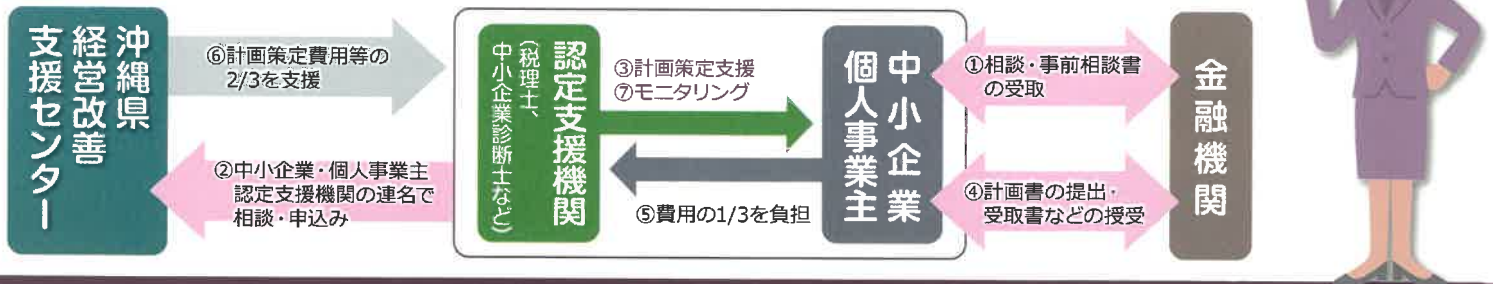


こんな方に、オススメです!

- ✓ このところ、資金繰りが不安定だ。
- ✓ よくわからないが、売上げが減少している。
- ✓ 自社の経営状況を、客観的に把握したい。
- ✓ 認定支援機関から、経営に関するアドバイスが欲しい。
- ✓ 経営改善の進捗について、フォローアップをお願いしたい。

### 特徴とご利用のイメージ

- ① 条件変更などの金融支援を必要としない、簡潔な計画です。
- ② 計画策定から1年後、フォローアップで進捗を確認できます。
- ③ 計画を策定することで自社の状況を客観的に把握できます。
- ④ 必要に応じて、本格的な経営改善や事業再生の支援策をご紹介します。



《お問い合わせ・ご相談窓口》

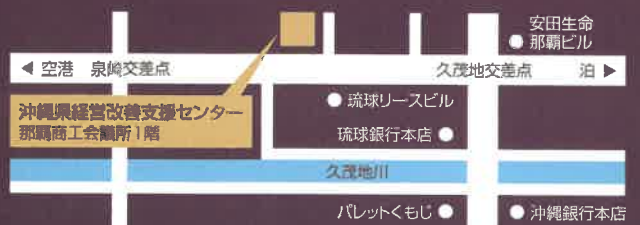
那覇商工会議所  
沖縄県経営改善支援センター

〒900-0033 那覇市久米2-2-10 (那覇商工会議所1階)

Tel. 098-867-6760 Fax. 098-867-6773

<http://nahacci.or.jp/saisei/center/>

沖縄県経営改善支援センター 検索



# 早期

# Q&A



これで  
分かる!

## 経営改善計画

Q1

相違点

A1

**早期**経営改善計画と経営改善計画の違いは何ですか？

従来の経営改善計画は金融機関から返済条件を緩和してもらうなどの金融支援を受けることを目的として、金融調整を伴う本格的な経営改善計画を作成します。

**早期**経営改善計画では、金融支援を目的とはせず、**早期**から自己の経営を見直すための資金実績・計画表やビジネスモデル俯瞰図などの基本的な計画を作成し、金融機関に提出します。

Q2

メリット

A2

**早期**経営改善計画を作ると、どのようなメリットがあるのでしょうか？

以下のようなメリットがあります。

- ①自己経営の見直しによる経営課題の発見や分析ができます。
- ②資金繰りの把握が容易になります。
- ③事業の将来像について金融機関に知って頂くことができます。

Q3

支援内容

A3

この制度において支援の対象となる費用はどうなっているのでしょうか？

認定支援機関による**早期**経営改善計画策定支援に係る費用(計画の策定費用、モニタリング費用(全て消費税込み))の2/3(ただし上限20万円)の支援を受けることが可能です。

Q4

支援対象  
事業者

A4

無借金経営の会社でも利用できますか？

決済口座を持つ金融機関などからの事前相談書があれば利用できます。

Q5

事前相談先及び  
早期経営改善計画  
の提出先

A5

- ①どの金融機関に事前相談に行けば良いのでしょうか？
- ②また、**早期**経営改善計画は取引金融機関全てに提出するのでしょうか？

- ①メイン行又は準メイン行に事前に相談してください。
- ②計画は、事前相談書を受け取った金融機関又は連名で申請する金融機関に提出してください。

Q6

ローカル  
ベンチマーク  
の活用

A6

本事業を活用して現状分析が重要だと認識しました。  
さらに分析をしたいのですが、何かツールはありませんか？

是非、ローカルベンチマークを活用してください。各データを入力することで経営状態を簡単に把握、分析できますので、本事業とあわせてご利用されることをおすすめします。